

## 令和元年度第1回八千代市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和元年10月3日(木)  
開 会 午後1時56分  
閉 会 午後3時00分
- 2 場 所 市役所 旧館4階 第1委員会室
- 3 出席者 【構成員】 市長 服部 友則  
(敬称略) 教育委員会教育長 小林 伸夫  
教育委員会委員 石井 伸一  
教育委員会委員 須堯 福美  
教育委員会委員 佐藤 志津  
教育委員会委員 川嶋 一永
- 【説明員】 教育次長 吉村 昌彦  
教育次長 林 雅也  
教育委員会 参事 蕨 茂美  
教育総務課長 島津 俊明  
学務課長 長島 秀一  
指導課長 嶺岸 秀一  
保健体育課長 加藤 英昭  
文化・スポーツ課長 春田 泰宏  
文化・スポーツ課 主幹 大澤 喜和
- 【事務局】 企画部長 小川 勝  
企画部 次長 加藤 博士  
企画経営課 主幹 原田 泰雄  
企画経営課 副主幹 井澤 延浩  
企画経営課 主査 山岸 政朋  
企画経営課 主任主事 諸坂 純平

#### 4 開 会

**○服部市長** ただいまから、令和元年度第1回八千代市総合教育会議を開会いたします。

会議の進行につきましては八千代市総合教育会議の運営に関する要領第3条第1項の規定により、会議の主宰者であります私が務めさせていただきになっておりますので、よろしく申し上げます。

それでは会議の冒頭におきまして、一言御挨拶申し上げます。

#### 5 市長及び構成員の挨拶

**○服部市長** 委員の皆さんにはお忙しい中、総合教育会議に御出席をいただきましてありがとうございます。

本日の議題は、「八千代市教育大綱の改定について」が第1点目、第2点目が「令和2年度重点的に講ずべき施策等について」の2件であります。議題の詳細につきましては、事務局より説明がございしますが、本市の教育の施策の方針や根本となっております八千代市教育大綱や来年度重要な教育施策などについてご意見を賜りますとともに、有意義な協議をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、委員の皆さんからも御挨拶を頂戴したいと思います。まず始めに小林教育長お願いいたします。

**○小林教育長** 皆さんこんにちは。先の議会におきまして、再任の御同意をいただきました小林です。引き続き、未来をひらき、豊かに生きる人間を育む教育を目標にして頑張ってまいりたいと思います。引き続き、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

**○服部市長** はい。ありがとうございます。続きまして石井委員、お願いいたします。

**○石井委員** 教育委員の石井でございます。よろしくお願い申し上げます。先日の中学の体育祭のお話を少々。市長にはお忙しいところ臨席されまして、ありがとうございます。市長が開会式で申したように、19回から御出席されていると。もう54回ほど回を重ねています。僕は他市で育ったものです

から、こういうような会はなかったですね。こういう体育祭、音楽祭というのが50何回も市とともに歩んで、そういう素晴らしいものがあるので、本当にうらやましいなって思います。今年は特に、去年が天候不良で中止だったこともあり、今年参加の2年生が3年生の分まで何かしちゃおうって一生懸命本当にやっていたなあって、本当に気持ちが伝わってくる総合体育祭だったので、来年以降もやはり市と共に、そういう会もずっと歩めるようにやってほしいなと思います。

**○服部市長** ありがとうございます。続きまして、須堯委員。

**○須堯委員** 私、須堯福美と申します。千葉郡八千代町の頃から八千代に縁があって存じ上げておりました。それで、この間も広報やちよが生まれて、人口が19万9,398人ということで、当時、八千代町の時代は本当にこぢんまりとしておりまして、今日に至っているわけですが、総合体育祭の話は野村グラウンドで行っていた時代は本当に良い思い出がいろいろありました。でも、今はもう287区画の住居ができるということで、緑の松を生かした、周りを囲まれ素晴らしい景観でありましたところの樹木はもう1本もありません。悲しいといいましょうか、これが移り変わりというものかなあというふうに感じています。実際、総合体育祭の新しくできた会場では、もう緑の屏風が前にバーっとあるところで子どもたちの演技が映え、素晴らしい舞台が出来上がったなと喜んでいます。

市の移り変わりでいろんな変化はあるけれども、子どもたちはその時々<sup>りくりよくきょうしん</sup>に一生懸命頑張っていて、また言葉が素晴らしくてですね、八千代中学「戮力協心」<sup>りくりよくきょうしん</sup> ということでしょうかこの言葉はと。子どもたちが一体感をもって「飛翔」や「全力疾走」だの、どこの学校もこれに向けて頑張るんだっていうところが見られてですね、とても良い印象を受けました。いつの時代も子どもたちが躍動する姿は素晴らしいなと思って見させていただきました。今後ともよろしく願いいたします。

**○服部市長** 続きまして、佐藤委員。

**○佐藤委員** 教育委員の佐藤でございます。今ちょうど他の委員さんからも総合体育祭の時期ということでお話が出たのですけれども、私も他市で育ちましたので、八千代市独自の行事ということもあるかもしれませんが、

授業内容はもちろん、行事も私が子どもの頃と比べると様変わりしているように思います。体育祭も私は記録会のようなもので、各校で演技を披露したり、交流を図ったりっていう場ではなかったように記憶しておりますし、また科学作品展ですね。地域の方や業者の方または大学やたくさんのボランティアの先生によって、ちょっとした科学の祭典のような催しになっているので、最近参加させていただいて、毎回すごく驚いて帰ってくるのですけれども。

これらの変化によって近年の子どもたちはのびのびと、本当に素晴らしい環境で学習できているのだなあっていうことを喜ぶとともに、また、変化の裏には、地域の方からの多大なご支援であるとか、見えないところでの先生方のご苦労があるのではないかなというふうに思っております。常にそれを念頭において、それらの支援のために何ができるのか模索して考えて行くべきだなっていうふうに思っておりますので、どうぞ本日もよろしく願い申し上げます。

**○服部市長** ありがとうございます。最後に、川嶋委員。お願いします。

**○川嶋委員** 川嶋と申します。よろしく申し上げます。私は、生まれてからずっと八千代市で生活しました。私のときは小学校4校、中学校3校で、今は33校ですね。かなり大きな都市になって、先ほど言ったように20万人弱の人口になって、そういう教育も私たちが習ったのと今では全く違ったかたちで、かつ、さっきの総合体育祭が今年で54回。私が中学2年生のときなのですからけれども、まったく記憶にないんですね。ああいった、演技をやったとかなんかって記憶がなくて、何をやったのか、体育の競技をやったのかなっていうイメージなのですけどね。今では、あのようなかたちで各学校の演技が盛んになって、交流を深めたり、大変良いことではないかと思えます。

それと科学作品展ですか。先ほど言ったように、各学校、大学、特に秀明大学さんにすごく協力してもらって、子どもたちを援助してもらって。子どもたちも違った世界を研究し、科学の勉強をされていていっているのではないかと思うのですよね。将来的に、それがきっかけで、もし八千代からノーベル賞の候補でも出てくればいいんじゃないかと思って、ますます八千代市に協

力して発展できることを希望しまして、微力ですけれども、少しでも力になればと思いますのでよろしくお願いいたします。

**○服部市長** どうもありがとうございます。総合体育祭の話が各委員さんから出て、僕も挨拶の中でふれたのですけれど、当時は野村グラウンドでした。挨拶の中でも言ったように、体育祭の良さっていうのは僕らの頃は小学校が分かれていきましたから、東小学校で分かれ、西小学校で分かれ、それが中学行って一緒になったりとか、そういう小学校体育祭のときはそうでしたから。離れ離れになっちゃった友達が今どうなっているか確認するには本当にいい機会だったので、おそらく川嶋委員がどんなやつやったのだから覚えてないとおっしゃったのは、おそらく、生徒同士で交流していて、そっちの方に関心があったから忘れちゃったのかもしれないと思います。いずれにしても、八千代の大事な伝統だと思うし、子どもの教育には必要なことだと思いますので、頑張っていきたいなと思いました。人口の話が出ましたが、今ちょうど上がってくる前に最新の9月末の人口が出まして19万9,603人だそうです、あと400人弱で20万ということです。

## 6 事務局紹介

**○服部市長** 続きまして、平成31年4月1日施行の組織改正に伴い、総合教育会議の庶務が教育委員会教育総務課から企画部企画経営課へ変更となりましたことから、事務局職員の紹介をお願いしたいというふうに思います。それでは事務局お願いいたします。

**○小川企画部長** 企画部長の小川と申します。これからよろしくお願いいたします。

**○企画部 加藤次長** 企画部次長、企画経営課長事務取扱の加藤と申します。よろしくお願いいたします。

**○企画経営課 原田主幹** 企画経営課主幹の原田と申します。よろしくお願いいたします。

**○企画経営課 井澤副主幹** 企画経営課副主幹の井澤と申します。よろしくお願いいたします。

○**企画経営課 山岸主査** 企画経営課主査の山岸と申します。よろしくお願  
いいたします。

○**企画経営課 諸坂主任主事** 企画経営課の諸坂と申します。よろしくお願  
いいたします。

## 7 議事録署名人の指定

○**服部市長** 次に、議事録署名人の指定をいたします。川嶋委員。

○**川嶋委員** はい。

○**服部市長** よろしくお願いいたします。

○**川嶋委員** わかりました。

○**服部市長** それでは、議事に入らせていただきますが、庶務は教育委員会  
から企画部の方に変わりましたが、教育会議の性格自体は変わりませんの  
で、八千代市の教育の根本だという思いを持ち続けていただければというふ  
うに思います。

## 8 議 題

○**服部市長** それでは議題の第1「八千代市教育大綱の改定について」事務  
局から御説明をお願いいたします。

○**企画経営課 山岸主査** 私から、教育大綱の改定につきまして説明させて  
いただきます。

教育大綱とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3によ  
り、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策につい  
て、その目標や施策の根本となる方針を策定するものです。

本市では総合計画の内容が「総合的な施策」に該当するものとして、平成  
28年3月に第4次総合計画後期基本計画の「義務教育」及び「文化財」の  
内容を教育大綱としましたが、策定当時に市長部局の職員が委任又は補助執  
行していたその他の教育委員会の権限に属する事務につきましては、すでに  
市長部局がこれらの事務を把握していることから教育大綱の対象としてい  
ませんでした。

今年度、平成31年4月1日の組織改正で「教育行政の一本化」が図られ、

教育委員会内での組織の見直しに加えて市長部局であった生涯学習部の教育委員会への移管も行われたことから、生涯学習部が所管する事務について、今回、教育大綱へ追加する改定を行います。

改定の内容については、現在の教育大綱が、第4次総合計画後期基本計画の「義務教育」、「文化財」の部分をそのまま教育大綱としていることから、これを踏襲し、後期基本計画の生涯学習部該当部分「生涯学習」、「市民文化」、「スポーツ・レクリエーション」、「青少年健全育成」を、同じ内容で教育大綱へ追加します。

資料「八千代市教育大綱（改定版）（案）」をご覧ください。

今回の改定で、4、5ページの「生涯学習」、6ページの「市民文化」、9ページの「スポーツ・レクリエーション」、10、11ページの「青少年健全育成」が追加する部分になります。

なお、「生涯学習」とは、生涯にわたってあらゆる機会・場所における学習という広範囲にわたる包括的概念であり、教育委員会にとどまらずに、市として網羅的に担う部分も含まれますが、本市の方針としまして、総合計画の内容そのままを教育大綱としていることから、今回の改定でも、総合計画と同様の体系で掲載させていただきます。

改定日につきましては、この会議での協議後、改定の決裁を行います。その決裁日をもって改定日とします。

以上、教育大綱の改定についての説明となります。よろしくお願いたします。

**○服部市長** ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたが、平成31年4月1日の組織改正で市長部局であった生涯学習部の教育委員会への移管が行われたことから、生涯学習部が所管する事務について、教育大綱へ追加する改定を行います。

今の説明または「八千代市教育大綱（改定版）（案）」について、御意見があればお願いいたします。

**○川嶋委員** はい。

**○服部市長** 川嶋委員。

**○川嶋委員** 文化財に関してなんですけれども、案内板の設置について、八

千代市内で、無形文化財、有形文化財、あと県の重要文化財がかなり数あると思いますけど。たぶん一般市民の方はどこに何があるかどうか、文章では書いてあるけども、道路を歩いていると、まず表示があまりよく目立たない。どこにあるのかどこに何があるか分からない。特に、正覚院には県の重要文化財がありますけれども、入口のところにも市としては設置されていない状況ですね。だから花まつりが年一回ありますが、来る方もいらっしゃるけど、知らない方がかなりたくさんいらっしゃいます。せっかく八千代市内で、そういった市指定の文化財ってたくさんある中で、やはり皆さんに知っていただくことは大事だと思うし、昔からの伝統のあるものですので、ある程度の表示をされるのがいいのかなと思います。

あと有形文化財の建物に関しては、正覚院の釈迦堂、あと権現様ですか。鐘楼がありますけど、たぶん耐震審査とかもやられてないのではないかなと思うのですよ。こういう時代ですので、やはり耐震審査をして、どういう形で保存していくかっていうのも重要な問題じゃないかと思うのですね。いっぱい言って申し訳ないのですけども。

無形文化財の中の、神楽とか獅子舞とか、今はやっていますが、将来的に継承する方がいらっしゃるものなのかっていうのも、せっかく続いてきたものが継承しないで終わってしまっても問題じゃないかと思いますので、それを継承する方のアドバイスとかなんかも、ある程度、市の方でも補助していかないと続いていかないのではないかと思うので、そういう面でも市としても、協力していけるところは協力してもらいたいと思うのですよね。せっかくある、昔からの伝統の中の一つですので、ぜひ市としても協力してもらいたいと思います。

**○服部市長** 今の川嶋委員の意見に対して事務局の方で答えられることがあればお願いします。

**○教育委員会 蕨参事** はい。

**○服部市長** 蕨参事。

**○教育委員会 蕨参事** 私の方で文化財を担当しておりますので、今のことについてお答えしたいと思います。表示板につきましては、今現在、文化財のところに立てていた案内板というよりは、説明板という形で設置しており、



現在は経年劣化をしてしまって、字が読めなくなっているものを中心になおしているところがございます。

それが終わった次の段階になるとは思いますけれども、御指摘のありましたとおり、どこの場所にあるか、またはそういう位置がわかりづらいという御意見も伺っておりますので、そちらにも対応してまいりたいと考えてはおります。ただ、いっぺんに全部の文化財に対してというのは、費用的な問題等もありますので、方法等については内部で検討しながら進めてまいりたいと考えております。

また、無形文化財の後継者問題については、地元の意向というのもありますので、保存会ができているところもでございます。その意向を聞きながら、より良い方法で、地元の人たちの意見等を入れながら、一緒に考えていければと思っておりますが、現状では、すぐに人が集まるというような状況ではございません。だからといって、広く、大きく募集もできない、地元の人たちでという思いも強いところもございますので、その辺も踏まえまして、地元の御意見を反映できるような形で、検討していきたいと思っております。大切な文化財ですので途切れないように私達の方も力を尽くしてまいりたいと考えております。

**○服部市長** 川嶋委員、今の説明で大丈夫ですか。

**○川嶋委員** はい。それに対して市長部局の方も協力してもらいたいですよね。教育委員会だけではなくて、市長部局の方からバックアップをしてもらえればと思います。

**○服部市長** 確かに知られていないというのは問題かなと思いますので、総合教育会議の庶務が企画部の方に移ったというのもありますし、シティプロモーション課と連携しつつも、そういう情報発信ができるような、八千代市でありたいと思いますのでよろしくお願いします。

また、これは余談になってしましますが、釈迦堂は有名なのですが、本堂で護摩を焚くっていうのを僕は知らなかったです。この間、歴史の写真展を見ていたら正覚院で護摩を焚いている写真があって、やはり情報をどんどん市民に発信していくっていうのは大事なことだなというふうに思いますので、貴重な御意見ありがとうございました。

他に御意見はないでしょうか。

**○石井委員** 地域スポーツの活性化というところで、総合型地域スポーツクラブとありますが、ちょっと漠然としていて、何か例があったら教えてほしいなと思います。

**○春田文化・スポーツ課長** 現在、市内に総合型地域スポーツクラブが、ゆりのき台と勝田台に2か所ございます。地元の学校等を使って、子どもたちから大人・お年寄りまでを集めていろいろなスポーツができるようなかたちで組織ができていて、そこを教育委員会として支援をしております。ただ、現状としては、それが他の地域に波及していくかという点、取りまとめを行う、中心となる人間ってというのがなかなか育たない状況と、あとスポーツに関わる状況として、一つの種目に携わって専門的に行うサークルの方が中心となっていて、地域型のスポーツクラブが育ちにくい環境になっていると思っております。

**○石井委員** 勉強不足で、地元で総合型地域スポーツクラブがあるのを知らなかったです。学校体育がスポーツのメインになっていますけれど、スポーツは生涯に渡ってやるのが一番いいし、そういう地域でやれるスポーツクラブがもっと広まってほしいなと思うので、もっと周知してもらえればいいと思います。

**○服部市長** 他に質問はありますか。

それでは、修正後の確認については、私の方に御一任をいただくということではよろしいでしょうか。

**○委員一同** 異議なし

**○服部市長** それでは、手続きを進めてください。

それでは次に、議題の2番、「令和2年度重点的に講ずべき施策等について」、いくつかある事業の中から特に力を入れて取り組むべきということで学校適正配置検討事業、学校施設長寿命化計画策定事業、来年に迫りましたオリンピック・パラリンピック学習事業の3本に絞って協議をお願いしたいと思いますが、まずそれについての説明をお願いしたいと思います。

**○長島学務課長** はい。

**○服部市長** はい。学務課長お願いします。

**○長島学務課長** では私の方から一点目の学校適正配置検討事業の現状と今後の予定について説明させていただきます。今年度は、先月9月24日に第1回八千代市学校適正配置検討委員会を開催したところでございます。その中では二つの議題について審議いたしました。

一つ目の議題として、平成19年に当該委員会から答申した八千代市小中学校の学校適正配置の基本的な考え方を踏まえた学校適正配置の進め方に沿って、市内小中学校における適正規模の現状を確認いたしました。

阿蘇地域につきましては、4校の全ての小中学校が適正規模を満たしておりませんが、すでに平成27年10月に答申が出され、現在、施設分離型の小中一貫校の設立に向けて協議しているところでございます。

村上地域につきましては、適正規模を満たしていない学校がありますが、推計等からも緊急性はないものと確認されました。

睦地域につきましては、小中ともに適正規模を満たしておりません。地域の現状や施設の築年数等も踏まえ、長期的な視点で考えますと、将来的には小中一貫校としての整備も選択肢の一つとして考えられると思います。また睦中学校は緑が丘西地区の入居が進んでいることから、生徒数の増加が考えられますが、6年後の生徒数の増減率は137%、学級数は6学級と予想しており、現在の学級数と大きな変化はございません。

大和田・萱田地域につきましては、人口が多いことから、小中学校におきましても、適正規模を超えている学校が多くありますが、推計を見ると減少傾向にありますので、将来的には大規模化は解消されていくものと考えられております。

次に高津・緑が丘地域につきましては、緑が丘西地区の入居が進んでいることから、みどりが丘小の児童数の増加が著しく、現在、通学区域審議会でも学区の変更を審議しているところでございます。高津中におきましても、生徒数増加も予想されておりますが、6年後の生徒の増減率は99%、学級数は23学級と予想しており、大きな変化はございません。しかしながら、今後も人口増加が考えられますので、逐次、緑が丘・緑が丘西地区の人口増加に伴う児童生徒数の推移を把握してまいります。また、今後の生徒数を鑑みて、関係部局と情報共有し、施設整備や通学区域の見直し等の対応について

協議を行っていく必要があると考えております。

八千代台地域につきましては、旧八千代台東小学校と旧八千代台東第二小学校の統合により、適正規模の基準条件の観点からは、緊急性はないものと確認しております。

また、勝田台地域につきましても、小中学校ともに現在のところ適正規模を満たしており、将来的にも大きな変化はないものとみられ、緊急性はないものと確認されました。

次に二つ目の議題についてです。今後適正規模を維持するためには統合という方法は選択肢の一つになります。それを行う際には、ただ統合することではなくて、子どもたちによりよい教育環境を提供することを考えますと、小中一貫校として統合することも検討しなければなりません。そこで、小中一貫教育という比較的新しい教育について、適正配置検討委員会でも審議いたしまして、今後の適正配置を検討する一つの材料として見識を深めていく必要がございます。そこで、八千代市におきましては、まだ市としての小中一貫教育の教育基本方針がございませんので、当該委員会でどのようなものが望ましいのか、審議いたしまして、教育長に報告することとしております。

**○服部市長** 次に「学校施設長寿命化計画策定事業」について説明をお願いします。

**○島津教育総務課長** はい。

**○服部市長** 教育総務課長。

**○島津教育総務課長** 長寿命化計画の目的といたしましては、改築や改修等を含めた中長期の維持管理等にかかるトータルコストの縮減、および予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能性能を確保するものでございます。

文部科学省からは長寿命化計画には教育委員会が所管する学校施設等について、実際の整備内容や時期、費用等を定めること、策定は令和2年度までに行うこととの通知が届いております。

今後の公立学校施設整備に対する国庫補助は、長寿命化計画の策定状況を勘案して採択されることが想定されております。現在、財務部資産管理課に

においては、本市が保有する建物についての八千代市公共施設等個別施設計画の策定が進められております。

この計画では、建物ごとの傷んでいる箇所の調査のほか、公共施設の利用、運営、コスト等の状況、公共施設を取り巻く現状と課題が整理されております。この策定のために収集された情報には当然、公立小中学校の情報が含まれますので、教育総務課におきましては、この情報をもとに、改築や改修等優先順位、個別の改善方法等を反映した長寿命化計画を文部科学省の指定する令和2年度末までには策定してまいらる予定でございます。

**○服部市長** 次に「オリンピック・パラリンピック学習事業」について説明をお願いします。

**○加藤保健体育課長** 私の方からオリンピック・パラリンピック学習事業につきまして、現在、各学校で取り組んでいる内容が保健体育課にかかわる内容が多いため、現在の状況と、来年度の見通しにつきまして御説明をさせていただきます。

子どもの可能性を引き出すためにオリンピック・パラリンピック教育指導計画案集を平成28年度八千代市教育課程検討委員会で作成し、各学校で配布し活用しております。

平成29年度からの取り組みといたしまして、公益財団法人日本オリンピック委員会が主催するオリンピック教室を村上中学校で開催いたしました。2日間の開催で初日は1996年アトランタオリンピック出場のバスケットボール女子日本代表の村上睦子さんを、2日目は2016年リオデジャネイロオリンピックのトライアスロン女子日本代表の加藤友里恵さんを講師に、中学校二年生を対象に専門競技の技術指導ではなく運動が苦手な生徒でも参加できるような授業とオリンピックの経験等を通して、国際オリンピック委員会が推進するオリンピックの価値等を伝えると同時に、生徒自身が自分のこととして捉え、今後に生かせるような座学を行いました。また、総合体育祭では、昼の休憩時間を活用し、ジャマイカの陸上選手ウサイン・ボルトの足型を活用し、歩数や記録を提示したり、走り高跳び、走り幅跳びの世界記録を実際に表示してみたりと、各競技の世界記録を目で見たり新たに知ることによって、子どもたちの興味関心を引き出すことができました。平成30年

度、令和元年度と高津小学校が千葉県からオリンピック・パラリンピック教育推進校として指定を受けております。

平成30年度の取り組み内容といたしましては、秀明大学女子水球部の選手、監督を招き、交流を通して、水球という競技を知ることや、小学校のプールを活用し、アクアゲームを体験いたしました。また、手足に障害を持った方を学校に招き、体育館で杖をついて行うアンプティサッカーの実技体験を行うなど、障害者理解を深めるための授業を行いました。

今年度につきましても、障害者スポーツのゴールボールの体験、選手との交流、昨年度に引き続き秀明大学水球部との交流、日本フェンシング協会所属の選手と交流したフェンシング体験を予定しております。

その他の取り組みといたしましては、各学校の授業実践の参考となるように、八千代市小中学校体育連盟が主催する体育相互視察において、オリンピック・パラリンピックに関連した授業実践を発表いたしました。実践した学校の例といたしましては、車いすテニスや車いすバスケットボールの体験、オリンピック選手を招いてのバレーボールの授業、障害者スポーツのブラインドサッカー体験、シッティングバレーボールなど様々な競技の授業実践が発表され、各校の取り組みの参考となっております。今年度も10月31日に体育相互視察を実施し、各学校での実践が発表される予定となっております。現在一部を紹介させていただきましたが、各校の教育課程全体を通して、オリンピック・パラリンピック教育に取り組んでおります。来年度につきましても、今年度の取り組みを継続した形で、オリンピック・パラリンピック教育に取り組んでいく予定であります。

**○服部市長** ありがとうございます。今の説明にも水球がありましたが、今年の6月に開催いたしました「東京2020応援プログラム」の水球イベントがありましたので、文化・スポーツ課から報告をいただければと思います。

**○文化・スポーツ課 大澤主幹** はい。

**○服部市長** 文化・スポーツ課。

**○文化・スポーツ課 大澤主幹** 文化・スポーツ課から本年6月8日、6月30日に開催いたしました、「東京2020応援プログラム水球普及イベント」について御報告いたします。

本日は皆様のお手元に参考資料の2として、イベント開催のPR用ポスターチラシのデザインをお配りしておりますので、御参照ください。

このイベントは、名称の中に東京2020応援プログラムとありますが、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から大会を盛り上げるための地域の取り組みとして、認証を受けたものであります。東京オリンピックの競技種目である水球の魅力を市民の皆様を知っていただくため、多くの水球女子日本代表選手を輩出しております秀明大学とともに開催したものであります。このイベントの趣旨といたしましては、今申し上げました、水球の魅力を市民の皆様を知っていただくためのものであるとともに、6月8日の水球体験コーナーでありますとか、6月30日の水球教室では小学生を参加対象としており、オリンピック・パラリンピック学習にもつながるものであると考えております。

イベントの内容といたしましては、6月8日は「水球ってなあに？」と題しイオンモール八千代緑が丘にて、水球女子日本代表選手によるトークショーや、体験コーナーとしてスピードガンによる水球ボールのスピード測定、「VR」仮想現実による水球体験などのコーナーを設置し、小学生を中心に参加された多くの皆さんに、水球の魅力をお伝えすることができたものと思います。当日は先ほどお話がありましたけれども、オリンピック・パラリンピック教育推進校であります、高津小学校の児童の皆さんにイベントの司会役や水球体験コーナーでのお手伝いもしていただきました。

また、6月30日には「プールで球技を楽しもう！」と題し、総合生涯学習プラザにて開催をいたしました。当日は市内の小学1年生から6年生までの男女51人が参加し、始めに、プラザの多目的ホールにおいて、水球男子日本代表キャプテンの大川慶悟選手から「水球の魅力」について講演があり、その後プールへ移動し、大川選手や秀明大学水球女子選手からの競技指導を受け、水球ボールのパスやシュートなどのアクアゲームを楽しみました。

今回ご報告いたしましたのは水球普及イベントとして開催したものでございますが、今後におきましても、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの競技種目の普及、PR活動に努め、大会に向けた機運の醸成を図ってまいります。

**○服部市長** それでは事務局の方から説明がありました3件について、委員の皆さんから御意見・御質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

**○川嶋委員** はい。

**○服部市長** はい。川嶋委員。

**○川嶋委員** 学校適正化の関係で、今、緑が丘西地域で一番開発が進んでいるかと思えます。これから人口もかなり増えてくるのではないかと思えます。その中で、児童数の推計が一番大変じゃないかと思えます。推計を見た中で、教育の環境を一番重要視したかたちのまちづくりで、教育委員会だけでは進まないと思えますので、まちづくりの中の市長部局と密に連絡をとりながら進めていただければいいかなと思えます。市長部局の方も協力をお願いしたいと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

**○服部市長** これは意見ということでしょうか。

**○川嶋委員** そうです。

**○服部市長** 今いただいた意見をしっかり受け止めさせていただきたいと思えます。

**○須堯委員** はい。

**○服部市長** はいどうぞ。須堯委員。

**○須堯委員** 阿蘇・米本地域での小中一貫校の設立について、ただ統合すればいいというものではなく、小中一貫校を推進していたときにはその大きな魅力に皆が「それなら良い」という感じがあったと思うのですが、施設分離型と入ったことによって、夢が消えてしまったような感じがありました。教育委員会のいろんな説明に対しても、盛り上がれない、ちょっと暗礁に来ているところがあります。よりよい教育環境というのは、人的環境と物的環境とある中で、物的な環境が整わないと魅力は上がらないと思うのですよね。

そこで、そのためには教育委員会はこのようにして教育しますからっていうのと、物的なことに関しては、市はこんなふうに応援しますからっていうようなかたちで、より阿蘇・米本地域の魅力が増すような話し合い、取り組み、計画、そして、もっとも抵抗の大きいといひましようか、阿蘇の小学校がもぬけの殻になって、廃校になっている惨めな姿がそこにあるということ



は、地域の方の無念な思いみたいなのが強くなると思いますので、阿蘇小学校が跡地としてただあるだけというのではなく、地域の方が寄り合えるようなとか、そういった夢を2本建てにしないと、学校だけが合体して、分離してというかたちでは進まないように思います。

市長部局がこのように一緒になった、このときに、大きな束になってこの問題を進めていただければありがたいなと思います。教育大綱がたくさんの方の範疇になりますから、より幅が広いから話があちこちで点であるのではなく、みんなが良いものに向かって盛り上がるという、大綱が本当に大きな力となるように、市長部局にぜひお願いしたいと思います。

**○服部市長** これは、御意見ということでよろしいでしょうか。

**○須堯委員** 御意見といたしますか、お願いといたしますか。

**○服部市長** 学校適正配置の問題が非常に難しく、須堯委員から話がありましたように、小中一貫校みたいな夢のある部分と、例えば米本小学校と南小学校を現状のまま置いておいてはまずいよねっていうような切実な問題と、二通りがありますので、それを同時に解決するところに難しさがあるかと思います。委員からいただいた意見はしっかりと、市長部局は知らないよってことは絶対できませんので、きちっと受けとめさせていただきたいと思います。これについて学務課は、意見はありませんよね。

あとは何か御意見がございましたらどうぞ。

**○須堯委員** 私からもう一つ、すみません。

**○服部市長** どうぞ。

**○須堯委員** 少年自然の家のことなのですが、長寿命化ということと、これからの経営とかいろんなことを考えたら問題が多々あります。少年自然の家での学習というのは、あそこへ行って自然体験ができればいいというものではないと思います。私が現職にありましたときには、野球場のところから1回降りて、そこから新川を歩いて、少年自然の家に行きました。八千代市というのを勉強するときは、石井食品や、少年自然の家がここにあるとかいうのは点ではわかりますけれども、新川をつたって行ってもなかなか着かない、そういった足で体験して、疲れて美味しい食事がありついでという、あそこにあるからとてもいいと思います。

また、ある時には電車で佐倉の歴博まで行って、そこから歩いて、もうそこに見えているのに川が湾曲しているのでなかなか着かない。それでもリュックを背負って歩いて行って、あそこに少年自然の家があるっていう体験をする。そのような捨て難いものがあるので、どこか違うところで飯ごう炊さんしたらいいということではなく、保品のあの地にある少年自然の家に向かっていくことによって八千代をより学べてきたっていう自負があります。修学旅行のようにポンと行ってそこで何かを学ぶこととは元々違って、八千代をより一層愛し、より一層分かり、そして八千代も広いな、そこにいけばこんなものもあるなと体験する機会であって、そして地域の方が農作業をしているところを「こんにちは」とか言って通ったり、教師の人が「そこは道じゃないから通っちゃいけないのよ」とか「作物があるのよ」とか言ったりしながら学ぶものは本当にあると思います。

八千代が営む素晴らしいものであると思うので、八千代市少年自然の家という、この貴重な学びができる場の安全面とか、これからの長寿命化でしっかり学習ができるように活用できるようにお願いしたいと強く思います。

○服部市長 これも御意見ということで承ります。他にございますか。

○佐藤委員 長寿命化計画ということですので、御要望ばかりで申し訳ないのですが、みどりが丘小学校、八千代台東小学校、八千代中学校のように、建設後、間もない校舎もあれば、50年を超えている校舎もございます。現代風の校舎と古い校舎ではやはり使い勝手や快適性に差があるように思いますので、長寿命化計画でこの差が少しでも縮まることを期待しております。

○服部市長 これについて事務局から何か意見ありますか。

○島津教育総務課長 はい。

○服部市長 教育総務課長。

○島津教育総務課長 学校機能の維持や快適性の改善ということが長寿命化計画の目的ですので、そういったところに配慮しながら計画を進めてまいりたいと考えております。

○佐藤委員 よろしくお願ひいたします。

○川嶋委員 先ほどの意見とちょっと似ているのですが、長寿命化計画につ

いて、新しい学校が3校、古い学校が30校ある中で、以前は、大規模改修というかたちで、各年度で補助金をいただいて、順番に改修をした。今後、30校を例えば1年間で3校ずつ改修するとしても10年かかってしまいます。

今回の台風の影響だけでも、県下で約9割の学校に影響があったと新聞に出ていました。その中でも、外壁の剥離とかっていうのがありました。外壁の剥離とか、また、長寿命化になっていくと給排水の関係も出てくるのではないかと思うのですよね。かなり古いですし、昔だと鉄の管を使ったりしていると思います。これを塩ビに換えていくと、かなりの費用がかかるかと思うのですよ。国庫補助金が出るかと思いますが。その中で計画的に予算を配置していかないといけない。年に3校やっても10年かかってしまいますので。10年間、毎年予算を措置ができるかどうかというとなかなか難しいかもしれませんが、そのペースでやっていかないと、10年経って、また、その10年後に同じ改修をしなきゃいけないとなると、毎年繰り返すことになるので、長寿命化に関しては、きちっと計画を立てた中で予算措置について市長部局の中でも協議しながら進めていっていただければいいかなと思います。学校の安全、子どもたちの学習環境も整えるための進め方していただければと思いますので、予算の措置をよろしくお願いしたいと思います。

**○服部市長** 長寿命化計画に関しては、先ほど説明の中にもあったように、令和2年度までに策定するというような文部科学省の意向もあって、そんなに悠長に構えてもいられないので、子どもたちの安全・安心を大事にしつつ、かといって莫大にお金が掛かるというもの困るので、その辺を含めて適正規模と、改修の方法も考えながら、進めていければというふうに思います。

他に何かございますでしょうか。

**○佐藤委員** はい。

**○服部市長** 佐藤委員。

**○佐藤委員** オリンピック・パラリンピック学習事業について、御提案というかたちになってしまうのですが、八千代市に縁のある選手がいらっしゃいますよね。そういう方の「祝五輪出場何とか選手」みたいな感じで看板などが街中の目に付くところにあると、オリンピック・パラリンピックが八千代

市の市民の方にとっても身近なものになるし、盛り上がるのではないかなと感じるのですが、何分、予算が必要になってくる案件ですので、市長はどのようにお考えでしょうか。

**○服部市長** まだ現実的な問題として捉えてはいないのですけれども、オリンピック・パラリンピック教育ということで、「子どもたちに関心を持ってもらおう」と言い続けて来たのですけれども、先日、新聞でもやっていたように、いよいよ子どもたち以外にも、JAさんが水球部にお米とか梨とか野菜とかを差し入れしてくれるようになり、八千代市を挙げてオリンピックを盛り上げようという機運が出てきていますので、もしも正式にオリンピックに出場が決まった場合は、市役所に垂れ幕を出すぐらいは検討したいと思っています。

あまり踏み込んで喋ってしまうとあれかもしれませんが、心配していた角田夏実選手ですが、阿部詩選手が世界選手権で優勝したこともあって、52キロ級にはこだわらずに、先日48キロ級の国内の大会で優勝したようですので、可能性としてはこれからも広がっていくような気がしています。もしも八千代市民がオリンピック・パラリンピック出場するってなったのなら、市を挙げて応援していきたいと思っています。お金は掛かるかもしれませんが、市民の皆さんの理解はいただけると思いますので、頑張ります。

**○佐藤委員** ぜひよろしくお願ひいたします。やはり子どもたちも自分の地域に縁のある方が出ているという、オリンピック・パラリンピックがもっと身近なものになると思いますので、ぜひ進めていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

**○服部市長** 加えて言うのであれば、オリンピックのメダルのホルダーは、八千代市民がデザインしたものですので、もしも八千代市民がオリンピックに出て、なおかつメダリストになったら、そのメダルホルダーは八千代市民が作ったのだということで本当に盛り上がると思いますので、力を入れていきたいと思っています。

**○石井委員** はい。

**○服部市長** 石井委員。

**○石井委員** オリンピック・パラリンピック学習事業の件で、各学校でいろ

いる競技に取り組んでいこうと思っているのですが、それに対して、ブライ  
ンドサッカーとかパラリンピック競技に関心が多いと思うのですが、その  
用具であるとか、講師の謝礼金であるとか、その部分に関してもうちょっと  
予算をつけていただけないかなと要望いたします。

**○服部市長** 文化・スポーツ課の方から、今の時点で何かお話できることは  
ありますか。

**○文化・スポーツ課 大澤主幹** 先ほど、いわゆる水球普及イベントという  
ことで6月に開催した内容について御報告をさせていただいたところでご  
ざいます。他に準備を進めているものもございますし、先ほども申し上げま  
したけど、やはりPRなどに力を入れて、八千代市としてもやれることを少  
しずつでもやっていきたいと考えております。

**○服部市長** 今、ラグビーのワールドカップが日本で行われていて、テレビ  
を通して、僕なんかも全然わからなかったのですが、だんだんわかってきた  
りとか。やはり身近なところでそのスポーツに接するっていうのは本当に非  
常に人間にとって良いことだと思っているので。本当に日本を挙げて、来年  
の東京オリンピック・パラリンピックをやるとすれば、人に任せるのではな  
くて八千代市も巻き込んで、八千代市民も一緒になって盛り上げていくって  
いうのは必要だと僕も思っていますので、これからも貴重な御意見ありまし  
たら、ぜひお寄せいただければというふうに思います。はい。

他に御意見はございますか。

次に、議題3「その他」となっていますが、委員の皆様から何かありませ  
るか。

**○石井委員** これもお願いになってしまうのですが、市民体育館ありま  
すよね。あそこの入口のところの横断歩道、ちょっと離れたところに信号  
あるのですが、信号のない方。あそこのところ結構僕は夕方か夜利用す  
ることが多いのですが。子どもが止まっても車が止まってくれない。  
夜になると本当に暗いのですよ。あそこ。やはり夕方、夜に小学生が夕方、  
中学生が夜まで結構ね、利用する方多いので僕なんかも渡るときに止まっ  
てくれないので。結構なスピードで来るものですからね。もうちょっとそ  
こらへんを何とか。プロの方に相談するのが一番だと思うけど、明るく、

横断歩道のところは明るく照らしてもらったり、信号は無理にしても、何かいい方法がないか、事故が起こってからでは遅いので、その辺ちょっとお願いしたいなと思います。

**○服部市長** これにつきましては、課題としたいと思います。

他にございますか。なければ事務局から何かありますか。

**○企画経営課 山岸主査**

教育大綱については、第4次総合計画後期基本計画と同じ内容としていますが、後期基本計画の終期は令和2年度で、令和3年度からは次期総合計画の計画期間となります。

現在、次期総合計画の策定に向けて、準備を行っていますが、教育大綱も次期総合計画の策定に合わせた改定が必要であることから、委員の皆様には、今後のこの会議で協議をお願いしていくこととなりますので、よろしく願いいたします。

**○服部市長** 今回、組織改正の関係で「八千代市教育大綱」を改定いたしますが、令和3年度から次期総合計画が始まりますので、それと整合性を図るため、八千代市教育大綱も見直さなければいけません。それについてもこの会議で協議してまいりますので、よろしく願いいたします。

他にございますか。ないようでしたら、事務局から次回の会議の案内をお願いいたします。

**○企画部 加藤次長** 次回の会議開催について御案内いたします。

次回「令和元年度第2回総合教育会議」につきましては、2月～3月頃の開催を予定しております。

後日、日程調整の御連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

**○服部市長** 今の事務局の連絡で委員の皆様から何かございますでしょうか。

次回の会議につきましては、事務局で調整をお願いいたします。

## 9 閉 会

**○服部市長** それでは、以上をもちまして、令和元年度第1回八千代市総合教育会議を終了いたします。

本日は、ありがとうございました。